

●第26回里山講演会 佐藤昭史氏 里山の会活動紹介に金田さんと太田さんがスライドで説明

台風10号が九州に上陸の可能性が高く、最大級の避難が呼びかけられている時期という悪条件の下での開催となり、気分的に盛り上がりには欠けましたが、それでも約20人の皆さんがご参集いただき、内容的には大変勉強になった講演会になりました。開会にあたり里山の会の活動報告として金田さんから「夜の生き物調べ」太田さんから「イタセンパラの取組」がスライドでの発表がありました。そして淀川河川事務所の専門官から「最近の出水と淀川河川事務所の動き」と題して講演をいただきました。スライド37枚を作製して、ギッシリとした内容のすごい資料を用意いただき丁寧にわかりやすく、そして簡潔に納得のいく解説をいただきました。翌日京都新聞に記事が報道されました



●最大級の避難が呼びかけられた台風10号 九州をかすめ北上して温帯低気圧に変わりました。これまでとは違って925hPaという、とてつもない気圧で瞬間風速70mと報道がされていました。太平洋の海水温度が異常に高温になり本州付近までその状況が広がって、水蒸気の供給が続きスーパー台風に成長してきたらしいのです。その前の9号によって一部海水がかき回されて水面温度が低くなり、勢力が低下して大きな被害が発生しなかったと伝えられています。今回はたまたまこうした状況に変化しましたが、地球温暖化による影響が大きくなり、今後ますます強力な台風が日本本土直撃する時代になってきているといわれています。これまでは洪水の危険浸水の危険と対策が叫ばれましたが、今後暴風対策(住居が吹き飛ばされる)も念頭に置かなければならない時代に変化してきました。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 今年の魚とりの取組は定例が4回と「京都府子どもの水辺」を加えて5開催とも晴天に恵まれた取り組みになりました。これまで予定日完全開催は初めてでした。夏休み期間の短縮で日程が短期間に集中しましたが、比較的予約されたメンバーがきちんと出席いただきました。いずれの会場もシンプルな取り組みにコロナウイルス感染予防のためにした内容でしたが、どなたからも初めて知ったきれいな木津川、楽しい取組であったと感想が寄せられました。また来年も参加したいとお書きいただきました。出席人数は4回で100人強の参加でした。山城教育局管内で木津川沿川の児童数は3万人にチラシの案内を配布いたしました。しかしご参加いただいたのは100人強だったのです。これでは川での遊びの少しの体験にしかならず、楽しい川遊びには程遠いものであり、身近な川に木津川がなったのだろうか疑問に思います。もっと木津川で安心して遊べる川にするためにはどうあるべきかみんなの知恵を出し合わなければならないと思います。

●25周年記念誌の編集25年のうち2013年～2008年を残すところまで到達

一言で25周年と語っても、

その見える化を図るために年譜は完成していますが、いま取り組んでいるのがイベントを列挙してときどきの写真を添付した資料に挑戦しています。前半初期の11年間と後半の14年からの7年間の整理が完成しました。中間の8年間分が未完成となっています。エクセルで順序良く写真の貼り付けで完成と予定していましたが、写真を張り付けて出来上がったと一段落した気分になって、翌日開いてみると張り付けた写真が全部消えていました。これの繰り返しを幾度も経験して、最終的に1年分ごとに原稿をまとめて、ここまでこぎつけることができました。できるだけ早く第1次原稿を仕上げて、多くの皆さんにお見せして改善、加筆、修正のお力を借用できるように追い込みをしたいと思っています。

● **木津川希少種生育調査管理地** 1番地イヌナヅナ除草作業を9月4日朝7時から作業開始していただきました。連日続く猛暑日の中、繁茂したクズのツルが絡まり、その取り除きを一つひとつに行っている除草作業になりました。これからクズはさらに太くなり強固になって、刈り取り除草はますます大変になってきますが、それでも刈り取っておけば年度最後の刈り取りが随分と軽作業になってくると思われます。ハンマーモアによる刈り取りなので随分と疲労度は違ったものになりました。皆さんのご協力をお願いします。

● **深田理事長抜歯の影響か発熱持続** これまで屋外作業でも屋内作業でも年齢を感じさせないすごいエネルギーの深田理事長が奥歯の抜歯を行われ、それ以後微熱が続き、時には38度近くにまで上がり、コロナウイルスへの感染かと、検査を受けても異常はなく、顎の下のリンパ腺にも負担が見当たらず、歯科でも内科でも異常なく、何が原因か少し不安で養生ということでした。

● **竹蛇籠の製作用竹材入荷** 切り出し 10日 4日の午後から太田播川金田さんによる竹蛇籠に使用する竹の切り出しの選定作業を暑さ真っ盛りの13時から15時まで作業をいただきました。大変ご苦労様でした。ところで真竹と淡竹の見分け方が大変難しく、これまで随分と苦労をしてきました。真竹は笹の枝の日本出ている枝のうち太いほうを切り落とすと中心に穴が見つかる真竹だと教えていただきました。詰まっていると淡竹とのこと、今回切り出すところで調査すると中心は空洞が見つかったので、狙い通り真竹ということになりました。10日の午後に運び込まれる予定となっています。

● **福井さん家族の介護で今年の参加は数回に** これまでの竹蛇籠の製作4回に最も熱心に取り組んでいただいていたのが福井波恵さんでした。そして昨年、製作用の解説ビデオの撮影にも積極的に協力され、具体的に編み方を文章化され、ずいぶんと技術的な普及に尽力いただきました。いよいよ9月になり本格的な竹蛇籠の編み始める季節に差し掛かりました。里山の会としては、全般的に指導いただくことができるものと大きな期待をしてきました。ところが最近ご家族のおばあさんの介護の必要性が強くなってきました。また看病が必要な家族が増えて、家事が増加して、それほど家を空けて外出できる時間が難しくなって、という連絡が入りました。加えて、千人力と期待抜群の比較的若い協力者からも、少しくクレームがあって、全面的な期待が無理という状況も発生し、去年よりも条件が劣化しています。ご事情を察していただき一層のご協力をお願いします。

● **蛇籠製作初日 9月13日（日）午前9時30分から作業開始です。** 今年で玉水浜での蛇籠の製作は最終回となる予定です。来年度の同場所での開催可能か懸念をしております。近くでの取組ですので、ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。参加希望者には製作前学習用のCDを無料で送付いたします。

● **待望のカヌー教室いよいよ12日迫る** スタッフ集合9:30をお願いします。先週号でお知らせいたしましたが、15家族19人の体験希望者が集まりました。

● **里山の会の次年度の社員募集** 現在社員は43名となっております。今年度でという皆さんもおいかと思いますので、数人の補充が必要かと思ひます。時代を担っていただく皆さんのご参加をお願いします

● **イタセンパラの地引網見学** 9月20日（日）城北ワンドへ

河合典彦先生から大阪の城北ワンドでのイタセンパラ生育確認と外来魚除去地引網を9月20日午前10時から開催するので、里山の会に5～6人の枠を確保しているので、ぜひ一度ご参加されてはとご案内が届きました。木津川でのイタセンパラの復活を目指す上では、市民活動として一度は見学させていただきたいと思っています。今年は最終回と予想されているので、ぜひご参加ください。里山の会へご連絡ください。

● **竹門先生の論文** 今回掲載はありません。